

～下記の研究を行います～

『コンピュータ支援手術で行った人工股関節全置換術・再置換術の術前後における身体機能評価』

【研究責任者】 整形外科 科長 阪上 彰彦

【研究の目的】 コンピュータ支援手術で行った人工股関節全置換術・再置換術が運動機能、活動量、QOL にどのような影響を与えているかを明らかにすることです。

【研究の期間】 研究許可日～2027 年 12 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2023 年 1 月 1 日～2027 年 12 月 31 日までに、当院でコンピュータ支援手術(3次元術前計画・ナビゲーション手術・ロボット支援手術)により人工股関節全置換術または人工股関節再置換術を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：

- ・基本情報（年齢、性別、疾患名、手術日など）
- ・手術情報（使用人工関節機種、手術時間、出血量など）
- ・臨床情報（日本整形外科学会股関節機能判定基準、術後合併症の有無、インプラント固定性、インプラント設置角度など）
- ・身体機能情報（患者立脚型機能評価 [Oxford Hip Score、Japanese Orthopaedic Association Hip-Disease Evaluation Questionnaire、Health Related Quality of Life]、歩数等の活動性など）

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 整形外科 科長 阪上 彰彦